■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026 年 10 月 06 日

社名	株式会社 佐沼建築システムデザイン	氏名	王　程	経験年数	7

□S 造・階段エリア

鉄骨の構造や階段の納まり、施工方法について、実際の施設を見学しながら理解を深めることができました。図面上の納まりだけでなく、施工性や他工種との取り合いを考慮した検討の重要性を改めて感じました。今後の施工図作成や製作図チェックに生かしていきたいと思います。

□RC 造・EV エリア

RC 造の構造や鉄筋、PCa・PC 関連の施工方法について、実物を見ながら学ぶことができ、理解を深める良い機会となりました。

□外装・屋上エリア

外装金物と RC 躯体の取り合い、屋上の設備・防水・排水計画、メンテナンススペースなどについて、実際の施工状況を確認することができました。

異種材料の取り合いや納まりについては、施工段階での調整だけでなく、施工図・製作図の段階から先行して確認することが重要だと改めて感じました。今後は、工程や施工性、維持管理のしやすさも意識しながら、図面の検討に生かしていきたいと思います。

□内装エリア

システム天井、インサート、軽量下地、LGS 壁、天井・壁などの仕上げ下地について、実物を見ながら施工方法や納まりを確認することができました。

特に、仕上工事では、建築・設備・電気などの各工種との取り合いが多く、事前の調整が工程や品質に大きく影響することを改めて認識しました。

現在担当している仕上工事の業務にも関係する内容が多く、今回学んだことを、総合図の確認、各工種との調整、納まりの検討、施工図や製作図のチェックに生かしていきたいと思います。

□全体

今回の研修会では、「施工中の状態」から施工完了後の仕上がりまで、さまざまな施工段階や納まりを一目で確認することができ、非常に有意義でした。

普段の現場でも見学する機会はありますが、安全面や施工のタイミングなどの制約があり、同じ場所でこれほど多くの施工段階や完成状態をまとめて確認することは難しいと感じています。

今回の研修会では、普段図面上で表現されている内容と施工状態を照らし合わせながら確認できたため、図面の内容をより具体的かつ直感的に理解することができました。

また、躯体・外装・内装・設備などを個別に考えるのではなく、各工種の関係や施工工程を踏まえて総合的に調整することの重要性も改めて感じました。今後は、図面を作成・確認する際に、現場での施工方法や次工程への影響も意識して取り組んでいきたいと思います。

□その他感想や要望等自由記入

このたびは、貴重な研修会を開催していただき、誠にありがとうございました。

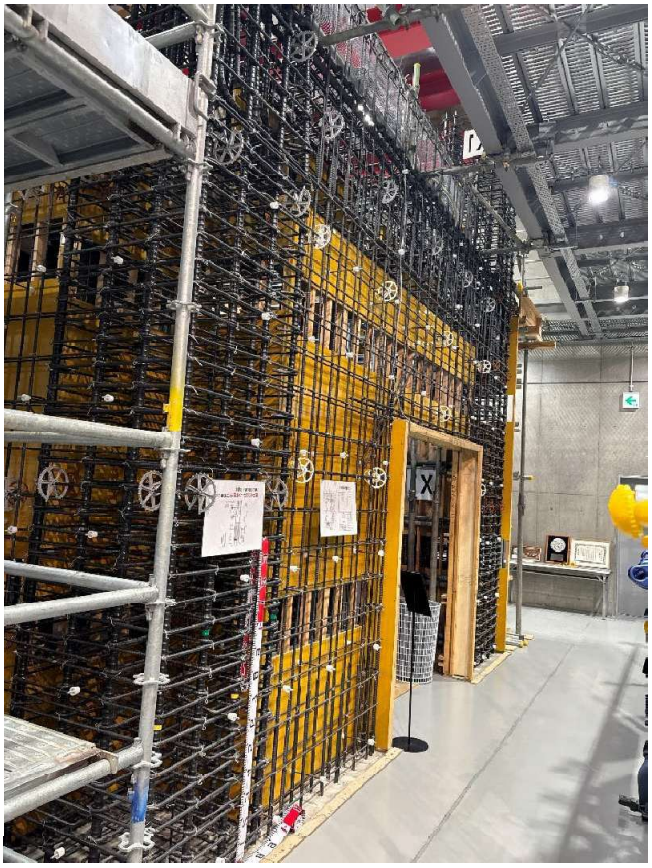
また、鹿島建設様には、このような充実した施設を見学・体験する機会をご提供いただき、心より感謝申し上げます。

施工に関わるさまざまな内容を見学することができ、大変有意義な研修となりました。今回学んだことを、今後の業務に生かしていきたいと思います。

今後もこのような研修会に参加できる機会がございましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。

■写真（コメント等自由記載）









■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026年9月18日

□S造・階段エリア

各部材名称から一部材の役割のことなど目線をたげて
教えて頂いたためとても分かりやすかったです。
免震装置を拝見できたことが一番印象に残りました。
見学時に、装置が作動している動画などを併せて観ることが出来たら尚良かったと思います。

□RC造・EVエリア

基礎配筋のモックアップはインパクト大でした。
設計図面として、実物を見ながら、施工スペースがどれくらい必要なのか
又施工性や順序を想像して学習することができた。普段図面の
寸法のみで、ボムセなくはイメージで作成していたので経験になりました。
足場のハイブリッド形状が実際と図面で違うことし各寸法は両方ないので、
多知識も取り入れて頂けたので分かりやすく、参考となりました。

□外装・屋上エリア

実務経験で一番乏しい分野を学習できたことは、私にとって、
一番の経験となりました。
金根材の模型で一般的な納まり、重量コストの面で幅広く
学習できました。屋上見学では各所のシール厚さや幅がイメージより厚くされていることが印象的でした。水勾配計画も想像しながら
現地で確認でき、参考となりました。

□内装エリア

木造の現場を経験しているため入りやすい分野
でした。建具の部材寸法にまでは踏み込んだ製作図チェック業務を
していたこともあるが、造作する際の取り合いなど新たに学習することができました。詳細図を想像しながらより深く確認できたことは
とても良かったです。

□全体

貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。
今回の研修会が第1回ということで、今後より発展した会に
なるように、アンケートを参考にしていただけると幸いです。
実際に現場に足を踏み入れると、面積された上を歩いたり、
狭いスペース段差が大きいところ、頭上が極端に下がっているところなど
業務をするうえで支障につながる障害物が沢山あるため現場確
認をするときは、常に安全を心掛けて慎重に取り組んでいきたいと
思います。生産設計業務を対象として集められた会だと思います
が、意匠や設備設計などそうした場を与える問題はいと思じ
ました。どの段階の時でも現場を見ることは、こまな対策をするため、
今後よりよき研修会になりますよう心から願っております。

□その他感想や要望等自由記入

1点提案としては、モックアップの各所に施工状況や順序、急震実験
などの参考動画を併せて見ることが出来れば、より理解が深まるの
かなと感じました。

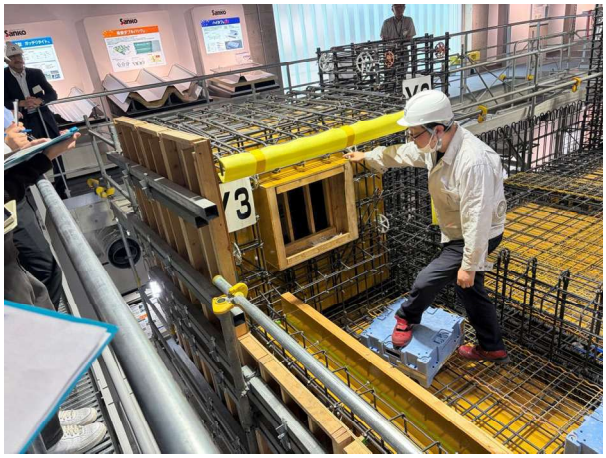
■写真（コメント等自由記載）













■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026年9月18日

□S造・階段エリア

鉄骨工事に関する様々な部材を実際に確認することができ、図面上で確認していたデッキプレートの種類や用途についても、現物を見ることで、改めて理解を深めることができました。また、鉄骨階段についても各部材の特徴や役割、重要性についてもより具体的に学ぶことができました。

□RC造・EVエリア

鉄筋の配置やかぶり厚さ、コンクリートを打設する前の施工状況を実際に確認することができ、型枠についても構成や特徴を実物を見ながら、学ぶことができたので良かったです。特に躯体工事における各工程の重要性やコンクリート打設時に伴う危険性についても改めて認識できました。また、ELVの構造やピットのつくりについて、普段見る機会が少ない部分を確認できたので、貴重な経験になりました。
型枠に関してですが、関東と関西で使う部材が違うことに驚きました。

□外装・屋上エリア

ECPやALCなど、普段図面でよく見る外装材について、説明も聞きながら実物の断面や納まりも確認することができ、実際の施工方法や取り付け方について理解を深めることができました。また、屋上見学では、ルーフドレン、トップライト、搭小屋、外壁、屋上緑化などについて、初めて学ぶことがとても多く、大変勉強になりました。屋上の勾配の取り方、手すりの錆び防止のツーリングなど、工夫点も学べたので良かったです。

□内装エリア

天井の下地の組み方や納まりが、天井の種類によって異なることを実際に確認することができ、図面だけでは分かりにくい部分についても、具体的なイメージをもつことができました。また、トイレのライニングについて、便所詳細図を作図していた際に何度も見ていたので構成や納まりを確認することができ、とても良かったです。
また、グラスウールボードに関して実際に見たのは、初めてだったので、用途や取り付け方について、学んだり、天井のインサート建具の取り付けに関して、図面ではイメージしにくかった部分も改めて認識することができました。

□全体

今回の研修では、S造RC造、外装、内装の各部位の図面上から確認することが多い内容を、実際に現物を見て説明を聞きながら、学ぶことができ、とても有意義な研修となりました。図面だけでは、イメージしずらかった部材の納まりや施工方法についても、実際に目で見て確認することで理解が深まりました。今回学んだことを、今後の生産設計業務に活かしていきたいと思います。

□その他感想や要望等自由記入

実際の施工現場を見る機会が限られているため、今回のように実物を見ながら施工方法や納まりについて学べる機会は非常に貴重だと感じました。今後も生産設計に関する知識を深められるような研修があれば参加したいです。

■写真（コメント等自由記載）











